

## 岩手県震災アーカイブシステムの名称について

## 1 通称案の選定にあたって

(1) 岩手県震災アーカイブシステムを多くの方に広め、利用していただくため、同システムに名称及び通称を付したいと考えているところ。通称については、皆様から提案いただいた通称案を概ね3案程度に絞り込みたいと考えているところ。

(2) 通称案を選定するにあたり、配意いただきたい事項は、次のとおりであること。

ア 「震災の記憶・教訓を未来に伝承することをイメージできる名称」が望ましいこと。

イ 特定の市町村名等のみを想起させる名称は好ましくないこと。

ウ 通称の利用イメージは、次のとおりであること。

「いわて震災津波アーカイブ～●●●●(通称)～」

## 2 名称案

「いわて震災津波アーカイブ」

「岩手県震災津波アーカイブ」

「東日本大震災津波いわてアーカイブ」

## 3 通称案一覧(全17案)

## (1) 岩手県に由来するもの

	通称案	提案理由
1	あかまつ	県の木であることから、掲げてみました
2	鬼手形	「岩手」の由来でもある三ツ石神社の「鬼手形」。住民の悪鬼追討の祈りに応えた神様が、二度と悪さをしないという確約として、岩の上に手形を残させたという伝説に由来している。「二度と悲劇を起こさないという強い意志を込めた岩手県の約束手形」、それが本アーカイブであることを象徴的に表現したものです。
3	紬(つむぎ)	紬は、岩手県の伝統織物。着崩れしないことから、江戸時代には幕府への献上品となっていた。1つの1つの資料(糸)が紡ぎあって、アーカイブ(紬)となり、長く着実に震災の教訓をつむぎ、定着させてほしいという願いを込めて提案するもの。

## (2) 沿岸地域に由来するもの

	通称案	提案理由
4	海嘯(かいしょう)	海嘯は津波の意を差しますが、今はほとんど使われません。あえて、喚起する意味で提案します。
5	T S U N A M I	「T S U N A M I」は海外でも通用する用語であり、外国人からのアクセスも望んであえて英語表記にした。
6	燈台 三陸燈台 みらい燈台	三陸地域の灯台は、昔より人里離れた場所から、光を灯し、航海の道標となってきた。本アーカイブが長く本県の防災・復興の道標となるという願いを込めて、提案します。
7	H A M A N A S U ハマナス	岩手県の沿岸に多数自生しているポピュラーな植物。寒暖に強く、浜から山奥にまで生息範囲を広げるたくましさ。鮮やかな花とその果実が特徴。決して目立つ植物ではないけど、震災にも負けず復活し、いつのまにか花を咲かせる。種子が受け継がれていく姿は、アーカイブシステムと重なってくる。
8	はまぎく	皇室ゆかりの花である「はまぎく」。その花言葉「逆境に立ち向かう」ように、被災地の復興が進んでほしいとの願いを込めました。

9	Y A M A S E	特に岩手県沿岸全体の特有の気象現象。先人たちは凶作をもたらす「やませ」と闘い克服してきた。イメージとしては若干マイナーなイメージなのが難点か。
---	-------------	---

## (3) 造語

	通称案	提案理由
10	いわて以震伝心	「以心伝心」より、「震災の記録と記憶を以って、ふるさと岩手を愛し、二度とこの悲劇を繰り返さないという防災・減災の心を後世に伝える」という本事業の目的を示したタイトルとした。
11	いわて温故知震(おんこちしん)	故事「温故知新(故きを温めて新しきを知る)」より“過去そして東日本大震災の記録・記憶を後世に伝承し、震災の居雲を導いてほしい”との思いを込めた提案
12	きおくのかげはし	このアーカイブシステムは、次のようにそれぞれをつなぐ“かけはし”となるもの。 ①震災の事実を未来に伝える ②震災の教訓を全国・世界に伝える ③震災前のふるさとの姿を未来へ伝える
13	ブドリの祈り	宮沢賢治晩年の童話「グスコーブドリの伝記」の主人公ブドリは、村人のために身を挺して冷害や火山災害、干ばつなどの災害の発生を止めようとします。ブドリの思想・行動は、地震津波災害による悲劇を再び繰り返さないためというアーカイブ事業の本質的な目的と合致します。その想いと、犠牲になられた方の鎮魂・追悼の意を込め、この通称を提案します。
14	未来への絆	次世代に語り継ぐこと、石碑的役割を担う、という願いを込めて

## (4) ことば

	通称案	提案理由
15	いきる	震災を経験して生命の尊さや自然との共存を痛感し、これから私たちがどう生きていくかという問題をこのアーカイブを活用していきたい。そして、震災の教訓が、未災地や次世代の防災・減災に生かしていく必要があるから。
16	つなぐ	震災記録や震災の教訓を国内外の方々につないでいくこと、また、次世代にもつないでいくことにより、これからの防災、減災、被災地の復興に寄与(つなぐ)していくことが、多大な支援を受けた本県の使命とであると考える。
17	みらい	震災記録や震災の教訓を、未来へとつないでいくことが、私たちの責任であると考える。

※ 検索エンジンで検索キーワードとして、「岩手・いわて・震災・津波・アーカイブ」という用語が用いられることが想定されること、通称は別の意味も伴うことを踏まえ、あえて通称を付ける必要はないという御意見もいただきました。